

# 住田町立有住小学校 第5学年 地域創造学学習指導案

日 時 令和3年9月29日(水)

場 所 多目的ホール

学 級 第5学年 12名

授業者 吉 田 由 香

## 1 単元名 「住田の宝 ～森林をいかした町づくり～」

### 2 単元について

#### (1) 題材について

第5学年では、住田町が町づくりとして特に力を入れている「森林・林業日本一の町づくり」を題材として取り上げ、住田町ならではの取組を学習し、そのよさや課題について探究活動を行う。

住田町は、町の土地面積のうちおよそ90%の面積の森林を保有している。また、人工林率が全国平均41%、県平均でも42%に対し、本町は50.8%と高い数値となっている。平成16年には、この町の財産である森林を生かした町づくりの取組として、「森林・林業日本一の町づくり」を目標として掲げ、町の林業施策の指針を示している。また、森林や林業に携る仕事も多く、自分たちの学習や生活経験に関わった育苗やクッブなど、児童にとって、身近な学習材となっている。

本単元では、まず、住田町の森林をいかした町づくりについて知っていることを話し合う。次に、住田町の森林の様子や森林活用などについて話を聞く。そして、町づくりについて児童一人一人が興味を持った取組について調べ、まとめる。次の段階では、実際に町づくりに関わる方をゲストティーチャーに招き、町づくりへの思いや願いを込めて取り組んでいることに気付かせる。このゲストティーチャーとの交流から学んだインタビューの仕方を、次の段階の学習で、自分が調べた取組に関わっている方々との交流に生かし、より深い探究活動へとつなげていく。単元のゴールでは、学習を通して気付いた「住田町の森林をいかした町づくり」のよさや盛んにするために関わってきた人々の思いを大切にしながら自分たちにできることを考え、発信していく活動を行う。

#### (2) 児童について

児童は、これまで、第1・2学年では、森林や木に慣れ親しむ活動や気仙川での川遊び体験など、自然と関わる活動をしてきた。また、第2・3学年では、学校周辺や有住地区の「いいところ」を調べ、町について理解や愛着をもつことができた。3年時には、世田米小学校3年生と合同で「いいところ」発表会を行い、住田町全体のよさについても学ぶことができた。第4学年の気仙川を調べる学習では、川と森林との関わりについて課題をもって調べ、探究的な学習をしてきている。

第5学年においては、第一単元の「住田の宝、栗木鉄山」の学習では、実際に栗木鉄山跡地を見学したり、たたら製鉄を体験したりして、製鉄産業と住田町の森林資源との関わりについて学習を深めることができた。また、昔の人々の苦労や知恵についても学ぶことができた。栗木鉄山跡地についてゲストティーチャーから話を聞く学習では、住田町の誇りとして大切にしていることを知り、ゲストティーチャーの思いに共感したり、栗木鉄山を誇りに思う理由を考えたりして学習に積極的に関わり、楽しく学ぶ態度が見られた。そして、学習をとおして様々な角度から分かった驚きや感動を、新聞にまとめて6学年や家族に発信した。発信する活動では、新聞の見出しを工夫したり、クイズを取り入れたりして相手意識をもって取り組むことができた。

児童は、創造の学習が好きで、意欲的に活動を進めている。しかし、ゲストティーチャーとの交流では、自分が知りたい質問に対して一問一答形式のようになり、相手との対話をとおして知りたいことを深く追究することができない様子が見られた。また、自分事として捉えられず、話を一方的に受け入れる場面も見られるなど、コミュニケーションとしての課題も明らかになりつつある。

### (3) 指導にあたって

本校では、地域創造学において、よりよく伝え、深く学び合うための言語活動を通して「生きて働く社会的実践力の育成」を目指している。児童が自分の考えをよりよく伝え合い、本単元の学習を深く学び合うことができるように、課題を自分事として捉え、積極的に活動に取り組むことができるようにする。

そこで、まず、役場林政課の方をゲストティーチャーに招いて話を聞き、住田町の森林をいかした町づくりに関心をもたせる。次に、森林をいかした町づくりに関わる方をゲストティーチャーに招いて話を聞くことで、町づくりを盛んにするために思いや願いをもって取り組んでいることにも気付かせる。ここでは、国語科の「きいて、きいて、きいてみよう」の学習で学んだことを生かし、インタビューの仕方を学ばせたい。そして、自分事として積極的に話を聞くことができたか振り返らせることで、次のゲストティーチャーとの交流につなげたい。また、自分の調べている取組についても、関わった人々の思いや願いに焦点を当てて課題を設定させ、自分事として関わらせることで、より深い探究活動へとつなげていきたい。

本時の指導では、これまで「もの・こと」として調べてきた住田町の町づくりについて、新たな視点として「人とのかかわり」に目を向けさせて探究活動を行わせたいと考える。そのために、幼児期から慣れ親しんでいる身近なスポーツ「クッブ」を住田町に広めたゲストティーチャーから話を聞く場を設定する。そして、ゲストティーチャーとの交流をとおして、相手の話を分かってもらうとして聞いたり、考えを受け入れようとしたりする他者受容の力が高められるように指導していきたい。さらには、「クッブ」を広めた思いや願いを聞くことで、郷土を愛する心にも目を向けさせたい。そして、森林をいかした町づくりについてのよさを知り、地域への理解を深められるようにしていくとともに、積極的に探究していく力を育てていきたい。さらに、社会科の「森林とともに生きる」の学習へつなげ、第6学年の「我が町再発見」の学習において、自分事として主体的に学びを進めていこうとする探究活動の素地をつくっていきたい。

## 3 単元の目標と評価規準

### (1) 単元の目標

	資質・能力の分類	資質・能力別の目標
社会的実践力	A【地域理解】	○住田町の森林をいかした町づくりを知ることを通して地域のよさを知り、積極的に調査・探究活動をすることができる。
	B【社会参画に関する資質・能力】	○住田町の森林をいかした町づくりの事業について、その取組のよさを考え、よりよい社会づくりに向けて自分ができることを提案することができる。
	C【人間関係形成に関する資質・能力】	○住田町の森林をいかした町づくりに関わる人との対話やグループでの伝え合いをしながら、課題解決に向けて活動することができる。
	D【自律的活動に関する資質・能力】	○住田町の森林をいかした町づくりに関心をもって学び、自らの学習を振り返りながら探求することができる。

### (2) 評価規準

☆汎用的スキル ★態度・意欲・学びの価値

資質・能力		評価規準	
A ◎地域理解	【◎地】	・住田町の森林をいかした町づくりについて、そのよさに気付きながら理解を深めている。	
能力 B 社会参画に関する資質	2 ☆多角的・多面的に考える力	【☆多】	・住田町の森林をいかした町づくりのよさについて、それぞれを関連づけたリ、統合したりしながら考えている。
	3 ☆提案・発信する力	【☆提】	・住田町の森林をいかした町づくりについて、自分の思いがよりよく伝わるように、表現を工夫して発信している。
	4 ★好奇心・探究心	【★好】	・住田町の森林をいかした町づくりについて興味・関心を持ち、自己課題を設定し、積極的に解決している。
	5 ★困難を解決しようとする心	【★解】	・課題解決や発表に向けての活動がうまくいかないときも、原因を考え、改善して最後までやり遂げようとしている。

質 成 能 力 C 人 間 関 係 形 に 関 する 資 質	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	・住田町の森林をいかした町づくりの取組について、相手の話を分かろうとして聞いたり、自分の考えを分かってもらえるように相手意識をもって話したりしている。
	3 ★他者受容	【★受】	・森林をいかした町づくりに関わった人の思いや友達の考えに気付き、受け入れている。
能 力 D 自 律 的 活 動 に 関 する 資 質	1 ☆感じ取る力	【☆感】	・森林をいかした町づくりについての学習を振り返り、分かったことや感じたことをこれからの生活や学習に生かそうとしたりしている。
	3 ★自己肯定感	【★肯】	・住田の森林をいかした町づくりについての学習活動を通して自分の成長や森林を守り育てていくために自分たちができることに気付き、今後の学習や生活に生かそうとしている。

#### 4 単元の指導・評価計画（本時 第20時／全40時間）

月	小 単 元 名	プ ロ セ ス	時	主 な 学 習 活 動	関 連 す る 教 科 ・ 領 域	評 価 項 目 ( 評 価 方 法 )
8 ・ 9	住田の森林をいかした町づくりについて調べよう	現状把握	2	・住田町の森林をいかした町づくりについて知っていることを話し合う。 ・住田町の現在の森林や森林活用に関わる話（森林のもつはたらき、森林と人のかかわり、木の活用）をゲストティーチャーから聞く。	国語 「新聞を読もう」 C1	B2☆多角的・多面的に考える力 (発言・学習シート)
		課題設定	2	・住田町の現在の森林や森林活用に関わる話を想起し、関心をもつ。 ・住田町の森林をいかした町づくりについて自己課題を設定する。	理科 「流れる水のはたらき」 A B2	B4★好奇心・探究心 (学習シート)
		情報収集	4	・自己課題について調べる。(林業・FSC・木造建築・森林組合・チェーンソーアート・ペレット等)	国語 「統計資料の読み方」「グラフや表を用いて書こう」 B2 B3 C1	B3☆提案・発信する力 (リーフレット) D1☆感じ取る力 (学習シート)
		振り返り まとめ	7	・森林・林業日本一を目指す町の取組で、わかったことをまとめる。 (リーフレット) ・リーフレットを読み合い、交流する。 ・小単元の振り返りをする。	社会 「森林とともに生きる」 D1 D2	B5★困難を解決しようとする心 (発言)
9 ・ 10	住田の森林をいかした町づくりについて調べよう	問題の理解 見直し	2	・さらに知りたい内容(人の思いや願い等)を開き出すためのインタビューの仕方を考える。 ・苗づくりをしているゲストティーチャーにインタビューする内容を考える。	外国語 「I love my town.」 C3	C3★他者受容 (ループリック)
		実施・改善	3 (本時3/3)	・住田町の森林をいかした町づくりに関わるゲストティーチャー(林業：苗木づくり)にインタビューをして知りたい情報(仕事や町づくりへの思いや願い)を引き出す。 ・インタビューの仕方を振り返り、次回のゲストティーチャー(木の活用：クップ)へのインタビューの仕方を考える。	国語 「伝わる表現を選ぼう」「提案しよう、言葉とわたしたち」 B3 C1	B5★困難を解決しようとする心 (発言・学習シート)
				・住田町の森林をいかした町づくりに関わるゲストティーチャー(木の活用：クップ)にインタビューをしてクップを広めた思いや願い、町づくりとの関わりを聞き出す。	国語 「きいて、きいて、きいてみよう」 C1 C3	
情報 収集	2	・自分が調べた取組に携わっている人に、仕事に対する思いや願い、町づくりとの関わりを聞き出す質問を考え、整理する。				
11 ・ 12		情報 収集	4	・自分が調べた取組に携わっている人にインタビューをして知りたい情報を調べる。		C1☆伝え合う力 (学習シート) C3★他者受容 (ループリック)

	実施・改善	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分たちの考えを交流する。</li> <li>調べた内容をもとにして、住田の森林をいかした町づくりを盛んにしていくために大切にしなければならないこと、自分たちにできることを考える。</li> </ul>		B2☆多角的・多面的に考える力 (学習シート) D1☆感じ取る力 (発言・学習シート)
	振り返り	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの学習から、森林をいかした町づくりを盛んにするために自分たちができることをまとめる。</li> <li>発表する相手(ゲストティーチャー)を意識したまとめ方や発表方法を考える。</li> <li>まとめたり発表の練習をしたりする。</li> <li>ゲストティーチャーを招き発表会を行う。</li> <li>発表会を振り返り、単元を通して感じたことや考えたことをまとめる。</li> </ul>		A◎地域理解 (発言・学習シート) B3☆提案・発信する力 (学習シート) D3★自己肯定感 (学習シート)

## 5 本時の指導

### (1) 目標

町づくりとクップとの関わりについてインタビューし、自分が知りたい情報を得るとともにゲストティーチャーの思いを理解することができる。 【C人間関係形成に関する資質・能力 C3★他者受容】

### (2) 評価について(本単元の他者受容に関わるルーブリック)

パフォーマンス課題		・町づくりとクップとの関わりについてゲストティーチャーの思いを理解し、ワークシートに記入する。
みとる資質能力		・C 人間関係形成に関する資質・能力 C3★他者受容
パフォーマンスの特徴	A	・町づくりとクップとの関わりについてゲストティーチャーの思いを理解し、郷土を愛する心にも目を向け、感じたことを書いている。
	B	・町づくりとクップとの関わりについてゲストティーチャーの思いを理解し、感じたことを書いている。
	C (支援の手立て)	・ゲストティーチャーや友達との交流を振り返らせる。

### (3) 展開

段階	学習内容・学習活動	指導上の留意点 ◆評価
導入	1 前時の学習を想起する ・苗木づくりをしている今野さんとの交流を振り返り、インタビューの仕方について気付いたことを想起する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>苗木づくりの今野さんとの交流で分かったことや国語で学習したインタビューの仕方を掲示しておく。</li> <li>今野さんとの交流を振り返らせ、インタビューの仕方について気付いたことを想起させる。</li> </ul>
10分	2 学習課題を確認する 多田さんにインタビューをして、いろいろな話を聞き出そう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>幼い頃から親しんできたスポーツ「クップ」を町に広めた方をゲストティーチャーに招き、自分たちから話を聞くことを確認する。</li> </ul>

<p>展開</p> <p>28分</p>	<p>3 ゲストティーチャーにインタビューをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分が知りたい情報について質問する。</li> </ul> <p>4 ゲストティーチャーの話聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>質問にでなかった内容の話聞く。</li> </ul> <p>5 自分の考えをもつ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>話を聞いて感じたことを学習シートに記入する。</li> </ul> <p>6 考えを交流する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>和やかな雰囲気の話が聞けるように、場の設定を工夫する。</li> <li>聞きたい情報を質問させる。また、クップを住田町に取り入れた理由やクップを通しての町づくりへの思い、願いなども質問させ、町を盛り上げようとしている気持ちや郷土を愛する心にも気付かせる。</li> <li>話を聞くときは、相手のことを考えて反応しながら聞き、メモは、短い言葉で書き、できるだけ顔を見て聞くように意識させる。</li> <li>ゲストティーチャーから質問にでなかった内容の話聞き、思いや願いを感じ取らせるようにする。</li> <li>学習シートに記入させることで、自分の考えを整理させる。</li> <li>グループや全体で交流させることで、自分の考えを深めたり広げたりさせる。</li> <li>思いや願いに触れた感想を意図的に取り上げる。</li> <li>ゲストティーチャーには、インタビューの内容や子どもたちの反応についての感想を聞く。</li> </ul>
<p>まとめ</p> <p>7分</p>	<p>7 学習を振り返る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本時の学習を振り返り、学習シートに記入する。</li> </ul> <p>・振り返りを発表し、全体で共有する。</p> <p>8 次時の学習を確認する</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分が知りたい情報を聞くためのインタビューをすることができたか、また、ゲストティーチャーの話聞いてクップを広めた思いや願い、町づくりとの関わりについて理解することができたか感想を書かせる。</li> <li>◆町づくりとクップとの関わりについてインタビューし、自分が知りたい情報を得るとともにゲストティーチャーの思いを理解することができたか。(学習シート)</li> <li>本時の活動を振り返り、インタビューのよさと子どもたちの活動を称賛し、次のインタビューの活動への意欲を高める。</li> <li>自分が調べた取組について携っている人にインタビューをして調べることを確認する。</li> </ul>